

前澤工業(株)



バルブ事業本部埼玉製造所設計部

古賀 雅隆さん

工学部知能機械工学科卒
入社6年目

バルブ事業、環境プラ
ント事業など展開

前澤工業は1937年

の創業以来、上下水道用
機器・水処理装置のメー
カーとして、上下水道分
野のインフラ整備に携
わってきた。上下水道施
設や施設間を結ぶ配管で
通水・止水や流量調整な
どの役割を果たすバル
ブ・ゲートの開発、設計、
製造を行う「バルブ事
業」、上下水道施設のシ
ステム・設備について研
究開発から設計、建設、
運転管理までを行う「環
境プラント事業」を主な
事業として、近年では有
機物を利用したバイオガ
スプラントの建設にも携
わるなど「水と環境」に
関わる分野を中心に事業
を展開している。

古賀さんは大学で機械
の設計を学び、設計に携
わることができる会社へ
の就職を志望していた。
「海外で水の大切さを強
く感じた経験があり、日
本の上下水道に興味を持
ちました。そうしたなか
で、長年培ってきた技術
力と独自製品を有してい
ること、そして、製品の
開発から設計、製造、出
荷までを一貫した体制で
行っており、設計職に
とっては設計したものの
製造工程を間近で確認で
きるなど非常に良い環境
であることに大きな魅力
を感じました」と前澤工
業に入社した理由を語っ
てくれた。

大口径バルブの設計を
担当

古賀さんは現在、浄水

長年培った技術力と独自製品

開発から出荷まで一貫体制で



設計の意図を的確に伝える
ことを強く意識

たニーズに合った
製品を提供してい
けたらと考えてい
ます。上下水道を
通して社会に貢献
したいという思い
を持った皆さんと
仕事ができること
を榮しみにしてい
ます」とメッセー
ジをくれた。

場や下水処理場で使用さ
れる大口径のバルブの設
計を担当している。設計
するバルブは、大きいも
のでは2階建ての建物ほ
どにもなるという。

「お客様に提出する製
品の納入図書と、製造現
場へ製作指示を出すため

の製作図を作成していま
す。1つの部品の寸法が
少しでも間違っていたら、
作り直しになってしま
いますので、常に緊張
感を持って業務にあたっ
ています。また、製造現
場に設計の意図を的確に
伝えるということを強く
意識して図面を作成する
ようにしています」と仕
事内容を、続けて「これ
までに社内でも実績が無
いような仕様の案件は、苦
労が多いですがその分完
成した時の達成感は大き
いですね」とやりがい
を語ってくれた。

こうした仕事に携わる
とともに、前澤工業のバ
ルブを使用する他社から
の依頼や問い合わせの窓
口のサブ担当となってお
り、製品に対する理解を
一層深めることで、窓口
の主担当を任せてもらえ
るようになることを現在

の目標としているとい
う。

上下水道を通して社会
に貢献

就職活動を行う学生に
対しては「仕事をする上
で大事なことは、働く環
境ももちろんあります
が、一番はやりたい仕事
をしてやりがいを感じら
れるかということだと思
います。そのためにも学
生のうちに様々な経験を
して、自分が本当にやり
たいことを明確にするこ
とが大切なのではないで
しょうか」と語るととも
に、「日本の水道・下水
道は施設や管路の老朽化
が進行するなど転換期を
迎えており、人員が限ら
れ、厳しい財政状況のな
か、メンテナンスがしや
すく長寿命化に寄与する
ような製品が求められて
います。当社ではこうし

水道産業新聞

2023年(令和5年)2月27日(月曜日)